

《2024年6月の聖書の言葉》

『見よ。それは極めて良かった。』

創世記 1章 31節

神様がご自分でつくられた作品をご覧になった時のお言葉です。「見よ。極めて良かった。」果たして、どんな作品だったのでしょうか？神様ですから、それはそれは壮大なスケールの作品でした。現代風にいえば、名付けて、「全宇宙創造プロジェクト！」

世界全部を含む宇宙ができた物語 = 神がつくった、その様子が記されているキリスト教の書物が『旧約聖書』創世記ですが、その内容は驚きがいっぱいです。

まず、全宇宙をつくった工期は一週間かけて創り上げたのだと。一日目は、天と地、闇と光。二日目は、空と海。三日目は、地に植物や木々。四日目は、昼と夜、夕べと朝。五日目は、生き物。魚と鳥。そして六日目に、動物と人という内容です。ちなみに七日目に神様はお休みになったと、週七日と休息の起源について書かれています。

いよいよ完成。出来がったすべてをご覧になって、神様は出来栄えに満足し、「見てごらん下さい！この上なく、非常に良い！Very good！だ」とおっしゃられました、というわけです。



では、皆さんに質問です。今月の言葉は、現代には関係がない、昔話に過ぎませんか？

ルーテルこども園では、神様にお祈りして、「目に見える世界だけでなく、目には見えない世界にも深く分け入る」物事の見方を、幼子の人格形成の初期に伝え続けてきました。これは、一部だけを見て、全部だと思いこんでしまわぬように、という教えにつながってゆきます。広域に手広く仕事をされておられる卒園生のお一人は、「宣教師に、世界が広いとルーテルで幼き日に教えてもらった。人生の宝で我が家の生き方の土台になった」と語られていました。

いつも忘れないで。いのちを創り与えてくださった天の神様は、愛と慈しみのまなざしを向けず〜んぶ見ておられる。たとえ上手くいっていない現実や思い通りにならなかった結果などなど、そういった目に見える現象だけが、あなたのすべてではありません。だから、落ち込みすぎないで。「それでも、あなたは、非常に良い！very goodに変わりなし」と。

来る朝ごとに、朝日と共に、天の神様の励ましを聞いて、さあ始めましょう。昨日とは違う、新しく用意された一日に迎えられた一人として、一日大事で、やってみましょう。

(チャプレン 白川道生)